

# 新国道上田篠ノ井間経過概要

## 昭和 36 年度

沿線住民代表が期成同盟会（篠ノ井上山田間川西バイパス建設促進期成同盟会「塩崎・稲荷山・桑原・八幡・戸倉・上山田」）を結成し、国道 18 号バイパスの千曲川左岸通過を求めて陳情等を実施

## 昭和 41 年度

理事者、議会、区長等で構成する、期成同盟会を結成（長野上田新国道篠ノ井村上間建設促進期成同盟会「二市三町」）

## 昭和 49 年度

篠ノ井村上間、延長約 25km の予備ルートが期成同盟会総会にて発表

## 昭和 50 年度

路線調査のための航空測量実施

## 昭和 51 年～54 年度

航空測量図化、道路予備設計

## 昭和 55 年度

1 市 3 町議会新国道連絡協議会が結成

## 昭和 57 年度

期成同盟会総会において、上田市の加盟を決定し、名称を「新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会」に変更、関係市町へ予定ルートを提示

## 昭和 59 年度

ルートを千曲川右岸に変更するルート変更案が期成同盟会総会において承認

## 昭和 60 年度

全線の内約 10.5km（長野市、更埴市分）が都市計画決定

## 昭和 61 年度

更埴市～長野市間約 10.5km のうち現道拡幅区間（更埴拡幅）3.2km が事業化

## 平成 3 年度

上田～戸倉間 16.8km が都市計画決定

上田坂城バイパス（上田～坂城間）4.9km が事業化<用地買収平成 4 年度～>

## 平成 6 年度

更埴拡幅完了

期成同盟会主催の建設促進住民大会が開催（1,400 人規模）

## 平成 8 年度

稲荷山バイパス（暫定 2 車線）完了

## 平成 9 年度

坂城更埴バイパスのうち 2 工区（八幡～稲荷山間）3.0km 事業化

## 平成 17 年度

坂城更埴バイパス（国道 403 号線～県道姨捨停車場線間）2.0km 暫定供用

## 平成 19 年度

坂城更埴バイパスのうち 2 工区（県道姨捨停車場線～県道長野上田線間）1.0km 暫定供用

## 平成 20 年度

坂城更埴バイパスのうち 3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km 事業化  
航空測量実施

## 平成 21 年度

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、道路予備設計、路線測量、地質調査を実施

県道力石バイパス（坂城町網掛～千曲市力石）1.8km が供用

上田・坂城バイパス（上田市上半過～坂城町小網間）2.3km が供用され、上田・坂城バイパス 4.9km が全線暫定供用

## 平成 22 年度

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、地元組織（国道 18 号坂城更埴バイパス稲荷山地区対策推進協議会）が設立し地元関係者、地権者、隣接者に説明会を実施し、道路設計、幅くい設置等について協議を推進

## 平成 23 年度

坂城更埴バイパスのうち 1-1 工区（坂城町区間）3.8km 事業化

## 平成 24 年度

1-1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）3.8km では、地権者、隣接者、地域住民に対する測量作業・地質調査の現場着手についての説明会を開催し、測量・地質調査・環境調査・予備設計を実施

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、千曲市側で用地説明会が開催され、長野市側では用地交渉及び用地買収を実施

## 平成 25 年度

1-1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）3.8km では、設計協議と地元説明会を開催し、用地の幅杭設置が完了

## 平成 26 年度

1-1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）3.8km では、用地測量と地元説明会を開催し、平成 27 年 3 月より用地交渉、買収に着手

## 平成 29 年度

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、トンネル掘削工事に向けて稲荷山地区と塩崎地区のバイパス予定地の地盤改良工事を実施

## 平成 30 年度

1-1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）3.8km では、網掛地籍において、木柵設置工及び工事用道路新設工事が実施

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、平成 30 年 7 月に（仮称）稲荷山トンネル掘削工事の安全祈願祭を開催、同年 11 月にトンネルが貫通

## 令和元年度

1-1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）3.8km では、約 78%（面積ベース）の用地買収が完了

3 工区（千曲市稲荷山～長野市塩崎間）2.6km では、塩崎地区のバイパス予定地の埋蔵文化財発掘調査を行い、調査の完了した区間においては軟弱地盤対策工事を実施